

## 笠岡市長から市民の皆様へのメッセージ

このたび本市職員1名の新型コロナウイルス感染症の感染が確認されました。本市職員が新型コロナウイルス感染症に感染した事例は12例目となります。

本市職員12例目は、笠岡市役所本庁舎2階の建設事業課に勤務する職員です。1月22日（土）PCR検査を実施し、1月23日（日）陽性が確認されました。

濃厚接触者については、現在保健所が調査中です。

1月19日（水）から21日（金）に当該職員と接触し、連絡可能な方については市が個別に連絡を行い、体調確認などを実施しています。

本市の判断で、昨日1月23日（日）念のため接触の多かった建設事業課職員1名、建設管理課職員3名を対象にNEAR法で検査を実施し、全員の陰性が確認されました。また、本日1月24日（月）建設事業課職員4名に対してPCR検査を実施し、全員の陰性が確認されています。

陰性が確認された職員は段階的に出勤する予定としています。建設事業課フロア及び当該職員の往来のあった場所については、消毒作業が完了しており、今後は在宅勤務を活用し、感染リスクを減らしながら通常どおり業務を継続します。

建設事業課に来庁された方で、発熱や体調不良等がある場合は、笠岡市新型コロナウイルス感染症対策本部（0865-69-2222）、岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備中保健所井笠支所：0865-69-1675）又は、かかりつけ医に相談していただくようお願いします。

1月に入り既に9名の本市職員の感染が確認されており、市民の皆さまには連日ご心配をお掛けしております。本市にあつては、職員のマスク着用や定期的な消毒及び換気、出勤前の検温、職員自身や家族の体調管理などに加え、庁内でのクラスター発生により業務などが一時停止することがないように、引き続き感染予防対策の強化に努めていきます。

また、本日、笠岡市で210、211例目の計2名が新型コロナウイルス感染症の新規感染者であると確認されました。本市では、1月に入り既に43名の感染が確認されています。

昨日の岡山県の新規感染者数は572名が確認され、5日連続で過去最多を更新しています。感染状況の悪化から、岡山県は政府に「まん延防止等重点措置」の適用を要請しています。今後、政府との協議を経て正式に決定されますが、本市を含め県内全域を措置区域とし、様々な制限や要請がなされることが想定されており、非常に厳しい状況となっています。

県内では子どもの活動拠点である、保育施設や、学校、部活動などでクラスターが発生し、10代までの感染者が顕著に増えています。現時点では重症化しにくい若者中心の感染ですが、爆発的な感染拡大により、高齢者の感染が増加すると、入院する割合が高くなり、医療体制がひっ迫する可能性があるため注意が必要です。

オミクロン株は感染力が従来株より約3倍強いと報告されており、誰もがあらゆる場面で感染するリスクがあります。また、1人でも感染すると、家庭、事業所、学校内などでクラスターが発生する可能性が非常に高くなります。発熱やせき、喉の痛み、倦怠感など少しでも体調が悪い場合、かかりつけ医や岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備

中保健所井笠支所：０８６５－６９－１６７５）に相談してください。

市民の皆さまにおかれましても、一刻も早く感染が収束するよう、これまで同様に感染予防対策の徹底をお願いします。

令和４年１月２４日  
笠岡市長 小林嘉文